

## 2. 各特別勘定の運用状況

### 日本株式型特別勘定 運用状況 (2010年2月末現在)

#### 運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

#### 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,263,004	99.2%
現預金・その他	136,830	0.8%
合計	16,399,833	100.0%

#### 運用状況

2010年2月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比0.74%下落しました。景気や企業業績回復の動きから上昇基調で始まったものの、一部欧州諸国の財政赤字懸念をきっかけに、下落に転じました。EUがギリシャへの財政支援に合意したものの、その後も懸念は払拭されきれず、円高が進行したこともあり、市場は不安定な動きとなりました。日経平均は月間で72円安の10,126円となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.98%下落しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、バリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

2月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

3月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

#### ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
85.78952037	▲0.98%	+5.52%	▲7.87%	+21.89%	▲45.13%	▲21.95%	▲14.22%

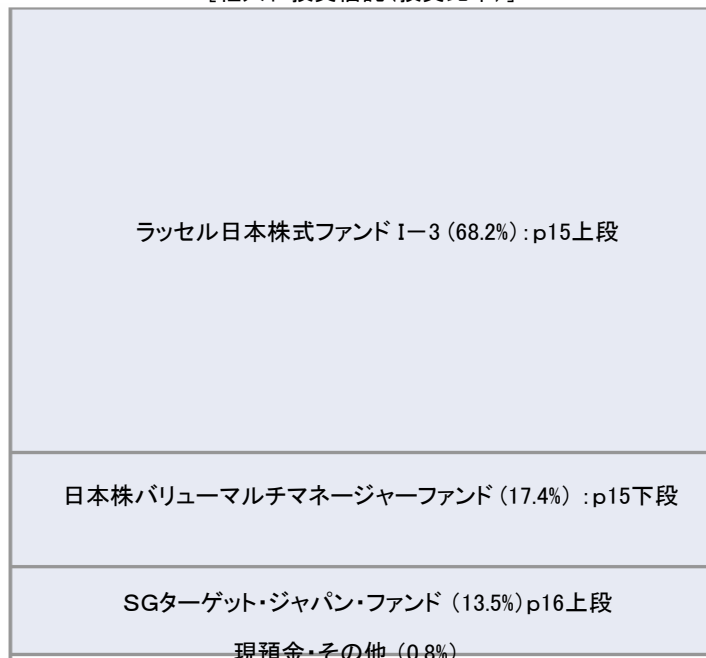
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

#### ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



#### ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

#### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。